

予算特別委員会産業建設分科会

R 3. 3. 1 0 (水) 午前 10 時 20 分
3. 1 1 (木) 午前 10 時 00 分
3. 1 5 (月) 午前 10 時 00 分
3. 1 6 (火) 午後 時
3. 1 7 (水) 午前 11 時
場所：第 2 委員会室

1 開 議

2 事務局日程説明

3 付託議案審査（説明～質疑、市長質疑項目の抽出検討）

（審査日程：別紙）

- （1）第 1 号議案 令和 3 年度亀岡市一般会計予算（所管分）
- （2）第 6 号議案 令和 3 年度亀岡市土地取得事業特別会計予算
- （3）第 8 号議案 令和 3 年度亀岡市水道事業会計予算
- （4）第 9 号議案 令和 3 年度亀岡市下水道事業会計予算

4 市長質疑項目の確認

5 討論～分科会採決

6 委員長報告の確認

7 その他

予算特別委員会(産業建設分科会) <審査日程>

●3月10日(水)

(全体会)

10:00～	全体会 (市長あいさつ)
--------	--------------

◇一般会計当初予算審査(説明・質疑)

10:20～	第 1 号議案	令和 3 年度亀岡市一般会計予算（所管分）説明・質疑 ※ 6 款農林水産業費・ 1 1 款災害復旧費	産業観光部
＜休憩＞			
13:00～	第 1 号議案	令和 3 年度亀岡市一般会計予算（所管分）説明・質疑 ※ 5 款労働費・ 7 款商工費	産業観光部
14:30～		（市長質疑項目の検討）	
＜休憩＞			
15:00～	第 1 号議案	令和 3 年度亀岡市一般会計予算（所管分）説明・質疑 ※ 8 款土木費 4 項都市計画費 1 目都市計画総務費まで	まちづくり推進部
		説明者前後入れ替え	
		令和 3 年度亀岡市一般会計予算（所管分）説明・質疑 ※ 8 款土木費 4 項都市計画費 2 目土地区画整理費から、歳入まで	
17:00～		（市長質疑項目の検討）	

●3月11日(木)

◇特別会計・企業会計当初予算審査(説明・質疑)

10:00～	第6号議案	令和3年度亀岡市土地取得事業特別会計予算	まちづくり推進部
10:05～		(市長質疑項目の検討)	
10:10～	第8号議案	令和3年度亀岡市水道事業会計予算	上下水道部
	第9号議案	令和3年度亀岡市下水道事業会計予算	
11:40～		(市長質疑項目の検討)	
11:50～		(市長質疑項目の整理)	

●3月15日(月)

◇市長質疑項目の確認

10:00～	市長質疑項目の確認
--------	-----------

(全体会)

10:30～	全体会 (市長質疑項目の報告・決定、現地視察の検討・決定)
--------	-------------------------------

●3月16日(火)

(全体会)

9:30～	現地視察：実施の場合
-------	------------

(全体会)

13:00～	全体会 (市長質疑)
--------	------------

◇討論～採決

16:00頃～	委員間討議、討論、採決(採決順：第1、6、8、9号議案)
---------	------------------------------

(裏面に続く)

予算特別委員会(産業建設分科会) <審査日程>

●3月17日(水)

◇委員長報告の確認

11:00～	委員長報告の確認
--------	----------

(全体会)

午後～	全体会 (分科会委員長報告、委員間討議、討論～採決など)
-----	------------------------------

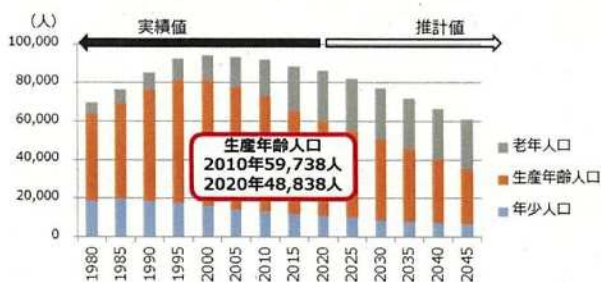
サンガスタジアム・イノベーション ・フィールド実証支援プログラム

令和3年度
亀岡市商工観光課

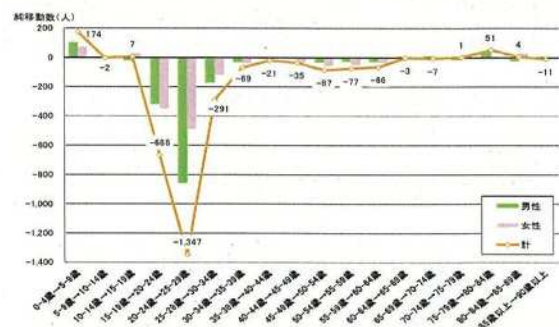
亀岡市の現状（負の側面）

- ・ 亀岡市の人口は、2000年の94,555人をピークに減少し続けており、同時に高齢化が進行している
- ・ 特に、進学や就職に伴う10歳から30歳代にかけての若年層の転出超過が多いことが積年の課題である

①人口減少と高齢化の同時進行



②若者の転出超過



（出典）国提供基礎データ（令和元年6月版）等より抜粋

亀岡市の現状（正の側面）

- JR亀岡駅の近くという好立地に、球技専用の最先端スタジアムの誘致に成功
- スポーツライミングジム、フードコート、足湯、保育園（来年度より）など、スタジアムの付帯施設も充実
- このような素晴らしいアセット（資産）を有していることは、他の地方都市と比べて「圧倒的な優位性」がある



3

商工観光課として達成すべき指標 （SDGs未来都市計画のKPI：経済面）

- 市民が社会的につながり、商業・投資・イノベーションが活発な都市を実現させる
- 具体的には、①専門的な知見や最先端の技術を有し、②本市固有の社会課題を解決することができる、全国のベンチャー企業の力をフルに活用することで、商業・投資・イノベーションが活発な都市の実現を目指す

指標	ターゲット	現在	2030年
➤ サンガスタジアムにおけるデジタル・テクノロジー領域でイノベーションを創発するプロジェクト数	8 経済の持続可能性 9 産業とインフラの革新	0件	20件
➤ 芸術家や起業家などの移住者数		2組	20組
➤ 新規起業家数	8 経済の持続可能性 11 持続可能な都市とコミュニティ	7事業者	100事業者
➤ JR亀岡駅半径750m圏内での空店舗数		25店舗	0店舗
➤ 市内の商業者数		605事業者	709事業者

4

サンガスタジアム・イノベーション・フィールド実証支援プログラム (事業期間：2021～2023年度)

- ・初年度は、知名度の向上およびスタジアム周辺における交流人口の増加を目指し、できるだけ大勢の人や企業に、自然豊かで、最先端のスタジアムを有する亀岡の魅力を知ってもらい・経験してもらう機会を創出することで、特に、「ベンチャー企業に対してもオープンでフレンドリーな都市であること」を対外的にアピールする。
- ・その際、球技専用のサンガスタジアムを実証フィールドとして開放することで、スポーツtech系（スポーツ×テクノロジー）のベンチャー企業を中心に、外部からソーシャルアントレプレナーを募り、5Gなどの最先端設備をフルに活用して、商業・投資・イノベーションが活発な都市となるために資する新規プロジェクトを実施する。

サンガスタジアム

交流人口
の増加

▶ スポーツ×テクノロジーの新規プロジェクト（例）

- ・ ゲーム分析
- ・ 選手のコンディショニング管理
- ・ スポーツ空撮
- ・ パーソナル指導
- ・ 栄養分析



YUKASHI
KADO INC
THIRD MISSION

Sportip



ROD

<課題>
全国的に
知名度が低い

事業内容と予算規模

- ・ サンガスタジアムを活用して、亀岡市の社会課題を、最先端のテクノロジーを駆使した先進的なビジネスモデルによって解決に導くスタートアップ等（第二創業/大企業の新規事業も含む）に対し、スタジアム使用料、フィールド実証等支援金を支給する。加えて、亀岡市ならびに事務局がスタートアップ等をサポートする伴走支援も実施する。
- ・ そのため、東京などからスタートアップを引っ張ることができ、かつ、亀岡市やスタジアムにとっても有益となる「事業計画」や「収益モデル」をスタートアップと一緒に作り込むことができる事務局スタッフが重要となる。

	金額	備考
① 事務局運営費（委託料）	15,800,000円	コンサルティング会社を想定
② 外部審査費用（委員報酬）	97,000円	9,700円/人×5人×2回
③ スタジアム使用料（補助金）	4,800,000円	フィールド、コワーキングスペース等
④ フィールド実証等支援（補助金）	15,000,000円	上限150万円/件×10件 (諸経費の1/2以内)
合計	35,697,000円	地方創生推進交付金も要求中 (国費にて1/2を補填)

事業フロー/スケジュール感

<2021年度>

- 4月 事務局の公募開始
- 5月 事務局の提案型コンペ → 委託事業者の決定
- 6月 事務局と制度設計、公募資料の作成、HPの作成など
- 7月 実証事業者の公募開始
- 8月 1次審査【第①弾】
- 9月 2次審査【第①弾】 → 採択事業者の決定（目標：5件） → 実証開始
- 10月 1次審査【第②弾】
- 11月 2次審査【第②弾】 → 採択事業者の決定（目標：5件） → 実証開始
- 12月 実証事業のサポート
- 1月 “
- 2月 “
- 3月 成果報告会 + 報告書の提出

7

事業根拠と終期

- ・ SDGs未来都市計画（経済面）のKPIの達成には、今までにないイノベティブな新政策が必要不可欠
- ・ 2022年度以降は、移住・定住者の増加に資するテーマ（例：最先端の幼児教育など）でスタートアップを募り、スタジアムを核にした産業振興政策を行う
- ・ なお、将来的には税金から自立したサステナブルな事業実施を目指し、「企業版ふるさと納税」を活用したクラウドファンディング型の事業スキーム等も、事務局メンバーと検討していく予定



8

事業名：「光秀公のまち亀岡」大河プロジェクト

事業年度：令和元年度～令和2年度

実施主体：大河ドラマ「麒麟がくる」亀岡市実行委員会

事業費：369,857千円 ※予算ベース

○実行委員会収入

【亀岡市負担金】 157,529千円

【亀岡市補助金】 153,000千円 合計 310,529千円

内訳 国庫 地方創生推進交付金 25,755千円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 69,000千円

基金 ふるさと納税を活用したクラウドファンディング 84,000千円

ふるさと向上力基金繰入金 131,774千円

【諸収入等】 59,328千円

内訳 入場料収入 41,000千円 ドラマ館入場料

諸収入 18,328千円 物産店収入、駐車場収入

○実行委員会支出

【大河ドラマ館に係る経費】 318,347千円

内訳 ドラマ館展示関連 130,000千円 (株)NHKエンタープライズ

入場券販売管理・運営 104,388千円 (株)近畿日本ツーリスト関西

スタジアム内装設営撤去工事 51,848千円 (株)NHKエンタープライズ

(株)ユニバーサル建設

賃借・共益費・売上手数料等 12,561千円 (株)ビバ

駐車場管理運営 19,550千円 (一社)亀岡市観光協会

【大河ドラマPR、関連事業等に係る経費】 51,510千円

内訳 受入体制整備費 4,487千円

誘客宣伝事業費 23,199千円

誘客賑わい体験事業費 13,637千円

その他等経費 10,187千円

